



Shinkoh News

—川口新郷工業団地協同組合—



平成22年 SIP川口視察旅行 信州善光寺にて

2011 JAN. 79

初春を迎えて



理事長
石川 義明

新年明けましておめでとうございませう。平成二三年の年頭にあたり、組合員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。さて、リーマン・ショックから二年以上を経過、上場企業は、それ以前の利益水準を回復しつつありますが、われわれ中小企業は先行き不透明な状況に置かれたままです。

昨年十月、日刊工業新聞社・千野俊猛社長の司会により中小企業庁長官高原一郎氏と対談しましたが、その中で、「強い中小に育てる」へ変化しつつあると強く感じました。中小企業の成長づくりの環境整備に力を注ぐので、われわれの意識が変わることを最重要ととらえているとのことでした。これからは今まで以上に、情報を交換しあひ強く共有することが出来る組合組織にうってつけの時代になると確信しております。

今後も、組合員の力を結集、ともに組合員が繁栄するよう、組合として活動し続けたいと思っております。一方、昨年八月に四回目の実施と

なった「ばんばん祭」は、三町会の皆様の絶大なご協力を得、天候にも恵まれて、五千人を越す来場者があり、おかげ様で大成功のうちに終わらせることが出来ました。今年も、より良い「ばんばん祭」を実施していきたいと思っております。その折には、組合員の皆様におかれましては、昨年以上に祭りに参加していただけるようお願い申し上げます。

また、昨年は、組合創立四〇周年記念式典に多くの組合員の皆様、諸先輩役員の皆様、ならびに関係各位にご出席いただき、おかげさまで盛大に開催することができました。ここに感謝の意を表したいと思います。

そして、当組合は、三カ年事業、「中小企業人材確保推進事業」に取り組みしており、本年三月末にて終了となります。川口市内外における当組合の認知度を高め、人材確保に努める事がありますが、今のような不況のときこそ将来を考えた必要なことであり、終了後も引き続き活動は続けていきたいと思っております。

組合員の皆様におかれましては、組合運営に対し何卒倍旧のご理解と絶大なご支援ご協力を、引き続き賜りますようお願い申し上げます。終わりに、本年が川口新郷工業団地協同組合の皆様にとりまして、心身ともに健全で、希望に満ちた明るく実り多い年になりますよう祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

年頭のごあいさつ



川口市長
岡村 幸四郎

新年明けましておめでとうございませう。川口新郷工業団地協同組合の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より市政運営に對しまして格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴協同組合におかれましては、企業集積の強みを活かした共同受配電事業をはじめとする共同事業や地域コミュニティの推進を目的とした「ばんばん祭」を開催するなど、貴協同組合の強い連携力と創意工夫に對しまして、心から敬意を表する次第であります。さて、日本経済は、昨年九月以降、日銀発表の企業短期経済観測調査では、企業の三カ月後の先行き業況判断が七期ぶりに悪化し、また、政府発表の昨年十月の月例経済報告では、景気の基調判断を一年八カ月ぶりに下方修正する等、景気失速、円高、デフレという三つの先行き不安を抱え、正に正念場を迎えております。

こうした中、景気の影響を最も受けやすい中小企業のまちである本市産業界の実情を把握するため、昨年十一月

二六日に市内十二の産業団体の代表者の皆さんにご出席いただき「市内産業団体代表者との懇談会」を開催いたしました。席上では、受注の減少及び単価の切り下げによる収益の悪化や先行きへの不安等、依然として不況にあえぐ本市産業界の生の声をつぶさにお聴きし、改めて市内産業の厳しい経営実態を認識する機会となりました。

こうした市内産業の声にお応えするため、本市では、昨年十二月一日から、総額十三億円規模の工事・物品等の発注、市内事業者優先発注の強化、そして、小規模事業者資金融資と中小企業運転資金融資の利率を、昨年十二月受付分より一・四%から、それぞれ一・〇%と一・二%に引き下げる等、中小企業の支援策を柱に緊急の景気対策を講じたところであります。

今後におきましても、「産業の振興なくしてまちの前進なし」との信念の下、経済動向を十分注視し、市内産業界の声にお応えするようしっかりと取り組んで参りますので、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、川口新郷工業団地協同組合の益々のご発展と組合員の皆様方のご健勝、ご繁栄を祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

☆川口市より功績顕彰

(有限会社ミノル機械製作所)

大槻 稔 様

○「平成二二年度川口市産業技術・技能者顕彰制度」

永年にわたり、熟練した技術・技能をもって産業界の底力となつて貢献している技術・技能者として認められ「川口輝き賞」を受賞。



☆川口市より技能振興推進モデル事業所として認定

株式会社共和歯車製作所
代表取締役 萩原 伸宜 様

○「平成二二年度川口市技能振興推進モデル事業所」

川口市産業における様々な製造業分野で、優れた技能の維持・発展に積極

中小企業団体全国大会に参加!



的に取り組み、他の模範となる事業所として認定。

平成二二年十一月十八日、石川理事長を始めとする五名でもって、中小企業団体中央会が主催する第六二回全国大会に参加した。

場所は、奈良市「なら一〇〇年会館」、参加人数は全国各地から集まったおよそ三〇〇〇人。会場では、「デフレ不況の克服、連携組織対策等中小企業対策の強化」、「中小企業の生産性の向上」、「中小企業の経営の安定化」の三つの基本方針に基づく「円高、デフレ脱却のための経済対策の実行」、「中小企業に配慮した雇用対策の推進」、「中小企業に新たな成長を促す税制支援の強化」、「資金繰り対策の継続及び中小企業金融機能の拡充」など十四項目の決議を行った。

おめでとうございませう

☆長寿のお祝い



古希

◇有限会社精研クローム工業所
薄葉 武男 様

『優良従業員』

☆優良従業員表彰

中小企業人材確保推進事業に基づく表彰
(五十音順)

◇川口板金株式会社
名倉 利明 様

◇株式会社明光社
西山 暢宏 様

◇クラフトパック株式会社
花井 正和 様

◇アサヒコンストラクト株式会社
古谷 隆子 様

◇神陽金属工業株式会社
松下 紳哉 様

◇川口板金株式会社
森田真一郎 様

◇中原建設株式会社
山崎 三男 様

『E-1入賞』

◇中原建設株式会社
岩崎 洋 様

◇神陽金属工業株式会社
川崎よし江 様

◇川口板金株式会社
高木 良晃 様

◇株式会社明光社
星 陽子 様

◇川口板金株式会社
山内 昭広 様

◇神陽金属工業株式会社
平久 正世 様

◇株式会社明光社
榎石 拓真 様





会長 森 雄児

新年明けましておめでとうございます。ごさいま

日頃より組合員、組合執行部の皆様のご指導、ご協力を賜り、会員一同心から感謝申し上げます。

さて、まだら模様の景況感の中、一部明るさが見えている業界もあります。が、私たち中小零細にとっては不況の荒波にもまれていく状況に変わりはありません。

しかし、この様なときこそ会を通して資質の向上や情報の交換はもろろんのこと、互いの意欲を高めつつ、会員一同一致団結してゆくことが大切だと考えております。

また、納涼会・家族会なども例年に倣い順次開催し、会員相互、会員家族相互の親睦を更に図っていききたいと思っております。

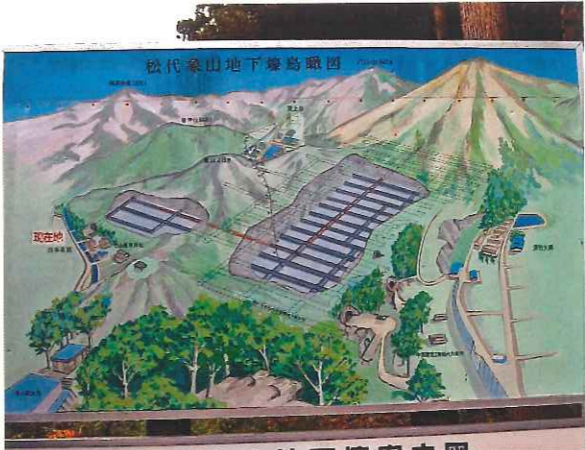
本年もご指導・ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。なお、新会員も随時募集しております。どうぞお気軽に組合事務局までお声掛け下さい。

視察旅行

―奥信濃・松代大本営跡―

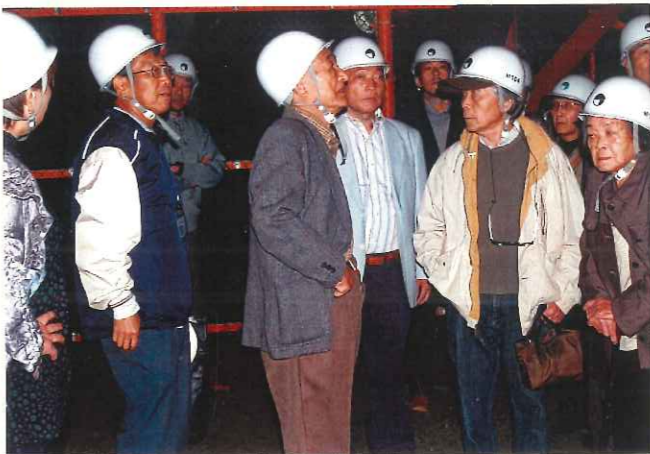
今回の組合視察旅行は長野県松代町の松代大本営跡の視察と附随した善光寺詣でに十月二十二日(金)・二十三日(土)にて参加二十一名にて行つてまいりました。

今回の視察先の松代大本営は、太平洋戦争末期に当時の大日本帝国の皇居をはじめとする軍、中央省庁等国家中枢機能移転のために山中に掘られた地下坑道で、昭和十九年十一月より工事が始まり、昭和二十年八月の終戦までの九ヶ月間に約二億円(当時の金額)の工事費と延べ三百万人が徴用され、その工事に携わったそうです。



坑道は基盤の目のように彫りぬかれ、総延長約10km、床面積約二万三千四百㎡

(全体の七十五%)の時点で終戦となり、工事は中止され放置されていたが、地元高校生が市に呼びかけ一般公開されるようになったそうです。



坑道の高さは大人が楽に行動でき、幅も狭い二車線道路くらいあり、人海戦術で十キロ掘るのは大変であったことが想像できます。

先の大戦の負の遺産を視察し犠牲者の冥福を祈りつつ視察を終え、次の視察先の国史跡松代城跡と松代藩九代藩主真田幸教により建てられた「真田邸」を視察の後、当組合顧問である新藤義孝衆議院議員の祖父であり硫黄島の戦いの指揮をとられた栗林忠道大将の墓所のある「明徳寺」を参拝し、昼食場所である長野市へと移動しました。

昼食は森前理事長ご推薦の善光寺門前そば処「大善」にて十割そば・更科そばを戴き、善光寺へと向かいました。

「遠くても一度は詣りいれ善光寺」善光寺では参拝者それぞれのご祈願をして、宿泊先である信州の名湯湯田中温泉「あぶらや燈千」にて旅の疲れを癒し親交を深めました。

二日目は、「あぶらや燈千」を後にバスを白根山へと向け出発、途中長野・群馬の県境付近にて日本アルプスが見事な姿を見せ一望できた。

白根山ではお釜への最短コースが有毒ガスの発生で通行止めとなり、迂回コースにて歩く時間が足りなく休息のみにて鬼押し出し園へ、鬼押し出し園の見学も昼食の時間との兼ね合いで休息のみで出発し、昼食場所の軽井沢へと向かいました。

軽井沢の「ピストロパッション」(代官山の本店パッションはミシュラン1つ星)にてフランス料理とワインを戴きしばしの歓談の後、バスにて軽井沢プリンスショッピングプラザに移動し、お買い物・散策の自由行動となり解散しました。

集合時間に皆さん集まり川口へ向け出発、都心に近づくにつれ渋滞が始まり、川口ジャンクション通過等のハプニングもあり予定より1時間遅れでの工業団地到着となりました。

中小企業人材確保推進事業

について

この事業は、「埼玉労働局」並びに「埼玉県」の認定を受け「雇用・能力開発機構」を窓口として、中小企業の労働力確保及び人材定着のための雇用管理の改善を促進することを目的とし、平成二十年八月から平成二十三年三月までの三年間の期間としております。

① 上期活動実績(二二年四月～九月)は次のとおりです。

ア人材確保検討委員会を三回実施。イ八月二二日、ばんばん祭にて

「人材募集コーナー」を設置
ウ埼玉県中小企業団体中央会機関紙「商工埼玉」並びに地元新聞「新郷新聞」に、広告を掲載
② 下期の計画は次のとおりです。

- ・人材確保検討委員会開催
・当工業団地と構成事業所のPR (埼玉新聞等)
・優良従業員表彰(職場定着)
・団体、構成事業所パンフレットの作成・配布(学校・関係機関)
・フォローアップ調査事業
・事業成果分析検討およびまとめ

「組合員さんへ」

この事業により、当団地のイメージをさらに高め、組合員の人材募集・定着をより推進、実績を重ねてまいりました。

下期は、三年間の事業の仕上げ期間ということもあり、色々とお願ひすることがございます。そのおりにはどうぞご協力の程お願いいたします。

「ばんばん祭」(第四回)開催!

平成二二年八月二二日(日)当組合主催、江戸袋町会・東本郷南町会・都住舎人自治会の三町会の共催により、「第四回新郷工業団地夏祭り」ばんばん祭を実施しました。

*「新郷工業団地でものづくりに励む人。そして回りに暮らす人。工業と暮らし。この両方が仲良く理解しながら共生する。」

当日天気にも恵まれ五千人を越す方が来場、以下ほんの一部ですが、その様子を掲載いたします。



